

お客さまこんにちは

# 渋谷区 ふれあい植物センター

〒150-0011 東京都渋谷区東2-25-37  
TEL: 03-5468-1384



## 渋谷清掃工場が電力を供給

渋谷区ふれあい植物センターは、2004年にオープンした植物園です。まず特筆すべきはその立地の良さ。渋谷駅と恵比寿駅の中間に位置し、どちらからも徒歩12分ほどでアクセス可能です。まさに都会のオアシスと呼ぶにふさわしい場所といえるでしょう。こんな都心に植物園があるとは思ってもよらないらしく、初めて来園した人に必ず驚かれるそうです。

渋谷区ふれあい植物センターは渋谷清



様々な熱帯植物が鑑賞できる

同センターは温水の代わりに電気を利用して、園内を暖めることにしたのです。

「渋谷区ふれあい植物センターで使用する電気の約90%は、渋谷清掃工場のごみ発電によるものです。当センターは熱帯植物を中心に展示しているので、温室の温度管理はとても重要です。電力の供給が安定しているごみ発電は安心感がありますね」と担当者の宮内さん。

これもまた便利な場所柄ゆえですが、近隣に建物が密集する同センターは、他の植物園と比べると決して日当りには恵まれていません。しかし、清掃工場から供給される電気のおかげで、園内は申し分ない明るさ。植物たちも心なしか嬉しそうに見えます。

## 来園者の リピート率が高い理由

1階のグリーンガーデン（温室）には、主に東南アジアから南アフリカ原産の熱帯植物が鑑賞できます。例えば、モモイロバナナ、オガサワラタコノキ、バオバブ



宮内さん

といった観葉植物、食虫植物や多肉植物などです。

同センターは「日本で一番小さい植物園」ともいわれますが、約200種類もの植物が季節ごとに違う顔を見せるため、何度訪れても新たな発見があります。

「私は植物のプランニングも担当していますが、1年の間には花が咲かない時期もあるため、葉の形が珍しい植物を展示するなどして、来園者の方を飽きさせないように工夫しています」（宮内さん）

実際、同センターのリピート率はかなり高いらしく、近隣オフィスで働く方々が園内でのんびりランチを楽しむために訪れることもあるそうです。

入園料の安さも、渋谷区ふれあい植物センターの魅力の一つです。同センターの入園料はなんと100円。1年間何度でも入園できる、1000円の年間パスポートを購入すれば、さらにお得です。この入園料の安さも、気軽についつい立ち寄りたくなってしまふ気分を後押ししてくれます。

また、渋谷にある植物園ということで、グリーンガーデンには「春の小川」という小さなせせらぎが流れています。これは、

渋谷ゆかりの唱歌「春の小川」を再現したもの。緑と光に溢れた空間で、せせらぎの音を聞きながら一息つけば、明日への活力が湧いてくるに違いありません。

## 区内最大規模のホタル観賞会

同センターでは、さまざまなイベントやワークショップを開催しています。押し花や多肉植物をモチーフにしたブローチの制作から、野菜の栽培方法や家庭菜園の楽しみ方の講習まで、その内容はバラエティに富んでいます。

中でも毎年6月に行われるホタルの鑑賞会「ホタルの夕べ」は、昨年は5日間で来場者が1万人を超すほどの人気イベントです。真っ暗な園内にホタルが飛び交う光景は何ともいえず幻想的。このイベント期間中は特別に、夜間のみ無料開放されるので、渋谷区内最大規模のホタル観賞会に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 関東電気保安協会の役割

前述した通り、渋谷区ふれあ

い植物センターは渋谷清掃工場から電力を供給されていますが、年に数回だけ電力会社に供給先が変わる時期があり、その切り替えを行うときにブレーカーが落ちる恐れがあります。

「ブレーカーが落ちて暖房が止まってしまうと、気温が急激に変化するため、植物にとっては大きなダメージです。オープン以降、一度も大きなトラブルがないのは、関東電気保安協会さんの日頃のメンテナンスのおかげです」（宮内さん）

また、植物園である以上、毎日の水やりは欠かせませんが、その際に心配なのが漏電です。感電事故や火災の原因にもなる漏電が、万が一来園者がいるときに起こったら、大変な事態になります。電気配線や器具の不具合で漏電の危険性は高まるため、この点でも日頃のメンテナンスは重要です。

渋谷区ふれあい植物センターが、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場であり続けるために、当協会は引き続きサポートしてまいります。



ホタルブクロとホタル  
撮影者:東松友一



モモイロバナナ